

平成29年度

事業報告

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

平成29年度事業報告

I 公益目的事業1（研究助成事業）

技術立国日本を支える科学技術の振興を図るため、若手研究者が行う研究開発に必要な経費を助成するとともに、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考した。

1 平成29年度研究開発助成金の交付

平成28年度第2回定時理事会で決定した研究開発助成テーマについて、研究開発に必要な経費を助成した。

- (1) 名 称 平成29年度研究開発助成金
- (2) 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、次の分野に属するもの ・材料技術・機械技術・電気電子技術
- (3) 助成テーマ 13テーマ（一覧表は下記のとおり：応募59テーマ）
- (4) 助成金総額 1,300万円
- (5) 研究期間 平成29年4月から平成30年3月まで 1年間
- (6) 研究成果 別添「研究助成成果報告書」のとおり

平成29年度研究開発助成テーマ等一覧表

| No. | 研究開発助成テーマ | 助成金交付対象者 | | | 助成額 (万円) |
|-----|--|---------------------------------------|---------------|------|-------------|
| | | 所 属 | 役職等 | 氏 名 | |
| 1 | 強力な生物活性を有する含硫黄アルカロイドの創出を指向した高選択的なラジカル付加反応の開発 | 岡山大学 異分野基礎科学研究所 | 助教 博士(工学) | 岩崎真之 | 100 |
| 2 | 回路素子の物理限界に迫る超高周波動作する高昇圧比絶縁DCDCコンバータの開発 | 神戸市立工業高等専門学校 電気工学科 | 講師 博士(工学) | 南 政孝 | 100 |
| 3 | 超音波と液晶による高速フィルムレンズの開発 | 同志社大学理工学部 | 准教授 博士(工学) | 小山大介 | 100 |
| 4 | 伸長成長過程における竹の細胞壁構造解析と竹独自の高性能セルロースナノ複合材料の創製 | 京都工芸繊維大学 大学戦略推進機構系・ グローバルエクセレンス | 助教 博士(農学) | 岡久陽子 | 100 |
| 5 | 高効率光捕集能を有するテトラベンゾポルフィリン五価リン錯体の創成 | 金沢大学理工研究域 物質化学系 | 准教授 博士(薬学) | 古山溪行 | 100 |
| 6 | 二周波駆動液晶を用いた電場応答性球状エラストマーの創製 | 立命館大学生命科学部 応用化学科 | 助教 博士(工学) | 金子光佑 | 100 |

| | | | | | |
|----|----------------------------------|--------------------------------|---------------|------|-----|
| 7 | 普遍的炭素資源を利用するクロスカップリング反応の開発 | 広島大学大学院工学研究院物質化学工学部門 応用化学専攻 | 助教 博士(工学) | 米山公啓 | 100 |
| 8 | 三次元共役ホウ素クラスター分子による多色発光性固体材料の開発 | 京都大学大学院工学研究院科高分子化学専攻 | 准教授 博士(工学) | 田中一生 | 100 |
| 9 | 縮環型アゾベンゼンホウ素錯体を基盤とした高分子材料の開発 | 京都大学大学院工学研究院科高分子化学専攻 | 助教 博士(工学) | 権 正行 | 100 |
| 10 | 優れた環境適応能力を示す脚ロボットの開発 | 京都大学大学院工学研究院科航空宇宙工学専攻 | 講師 博士(工学) | 青井伸也 | 100 |
| 11 | 新規光学活性マテリアルを目指した光学活性高分子の精密設計 | 大阪大学大学院理学研究院科高分子科学専攻 | 助教 博士(理学) | 神林直哉 | 100 |
| 12 | 牽引力により分子吸着特性が制御されるナノ繊維材料の創製 | 福井大学テニユアトラック推進本部 | 講師 博士(工学) | 坂元博昭 | 100 |
| 13 | 結晶方位を回転した SOI 基板における新機能シリコン光素子開発 | 大阪府立大学大学院工学研究科電子・数物系専攻 | 准教授 博士(科学) | 高橋 和 | 100 |

2 平成30年度研究開発助成テーマの募集及び選考

平成30年度に助成するテーマを募集し、研究助成選考委員会で選考の上、第2回定時理事会の承認を得て助成テーマを決定した。

- (1) 助成対象者 北陸地方から中・四国地方までの地域にある理工学部系の大学等に在籍する40歳未満の研究者
- (2) 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、次の分野に属するもの ・材料技術・機械技術・電気電子技術
- (3) 募集期間 平成29年11月1日から平成30年1月19日まで
- (4) 応募テーマ数 60テーマ
- (5) 助成テーマ数 14テーマ
- (6) 助成金総額 1,400万円
- (7) 研究助成選考委員会の開催状況

| 開催年月日 | 議 題 |
|------------|------------------------|
| 平成30年2月26日 | 平成30年度研究開発助成テーマの選考について |

Ⅱ 公益目的事業 2（人材育成事業）

科学技術の振興を担う人材を育成する事業を行った。

1 技術セミナー

ものづくり技術開発の高度化を促進することを目的に、先端技術シーズや研究開発の最前線の状況を紹介するセミナーを開催した。

なお、セミナーへの参加を促進するため、参加費を徴収しないこととした。

- (1) 名 称 平成29年度ものづくり先端技術セミナー
- (2) 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
- (3) 場 所 京都府産業支援センター5階 研修室
- (4) 内 容

| | 開催日・テーマ等 | |
|-----|--------------------------|--|
| 第1回 | 日 時 テーマ 講 師 参加者 | 平成29年7月18日（火） 14:00～16:30 「新規有機エレクトロニクス材料の合成と応用」 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 教授 山田 容子 氏 35名 |
| 第2回 | 日 時 テーマ 講 師 参加者 | 平成29年9月28日（木） 14:00～16:30 「工業製品や部材の長持ちの科学」 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科繊維学系先端ファイブ ロ科学専攻教授・長もちの科学開発センター長 西村 寛之 氏 32名 |
| 第3回 | 日 時 テーマ 講 師 参加者 | 平成29年11月30日（木） 14:00～16:30 「繊維強化複合材料用マトリックス樹脂」 兵庫県立大学大学院工学研究科化学工学専攻 教授 岸 肇 氏 39名 |
| 第4回 | 日 時 テーマ 講 師 参加者 | 平成30年1月25日（木） 14:00～16:30 「ワイヤレス給電の基礎とその魅力的な利用法」 株式会社リユーテック代表取締役（山口大学名誉教授） 粟井 郁雄 氏 45名 |

○ 平成30年度は、平成29年度と同様、4回開催することとなった。

2 技術研究会

(1) CAE技術研究会

CAE (Computer Aided Engineering) の概説、実習、事例研究等を通じて、設計者が生産プロセス開発に必要なデータの収集・解析など日常業務に活用できる技術を修得することを目的にCAE技術研究会を開催した。

ア 名称 CAE技術研究会
 イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都府中小企業技術センター
 ウ 場所 京都府産業支援センター5階 交流サロン
 エ 参加者 関連企業等の技術者・研究者（新規4名、継続4名）
 オ 講師 田村技術士事務所・京都府特別技術指導員 田村隆徳氏
 株式会社島津製作所 CS統括部 笠井貴之氏
 カ 内容

| 例会 | 開催日 | 内容 |
|--------------|-----------|------------------|
| 平成29年 4月度 | 4月26日(水) | CAE概論の講義、課題説明 |
| 5月度 | 5月10日(水) | ADINAの操作説明と習得 |
| 6月度 | 5月24日(水) | 複雑な形状の線形解析の習得 |
| 7月度 | 6月7日(水) | 材料力学の基礎の習得 |
| 8月度 | 6月21日(水) | 線形構造解析の実習 |
| 9月度 | 7月5日(水) | 非線形構造解析の習得 |
| 10月度 | 7月19日(水) | CAEの非線形解析実習 |
| 11月度 | 8月9日(水) | 熱の定常解析及び非定常解析の習得 |
| 12月度 | 8月23日(水) | CAEの熱モデル解析実習 |
| 平成30年 1月度 | 9月6日(水) | 熱応力解析の習得 |
| 2月度 | 9月20日(水) | CAEの熱応力モデル解析実習 |
| 3月度 | 10月11日(水) | 振動解析の習得 |
| | 11月8日(水) | 事例研究の準備 |
| | 12月6日(水) | 事例研究 |
| | 1月10日(水) | 事例研究 |
| | 2月7日(水) | 事例研究 |
| | 3月14日(水) | 事例研究 |
| | | 成果発表会・講演 |

※開催時間は、いずれも10:00~17:00

○ 平成30年度は、平成29年度と同様、例会を17回開催することとなった。

(2) 京都品質工学研究会

将来起こるかもしれない製造上のトラブル等を未然に防止し、安定した設計・製造技術を効率良く開発するための手法として広く活用されている品質工学を学び、実践し、交流する場として京都品質工学研究会を開催した。

ア 名称 京都品質工学研究会
イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
ウ 場所 京都府産業支援センター5階 研修室
エ 参加者 法人会員12名、個人会員4名

| 例会 | 日時 | 内容 |
|-------|----------|--|
| 第1回 | 5月19日(金) | 講演「技術者と品質工学～あらゆる技術に通用する評価技術～」 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏 |
| 基礎学習会 | 6月16日(金) | 講演「品質工学の概要」 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏 |
| 第2回 | 8月4日(金) | 京都・滋賀・関西・中部の各品質工学研究会の合同例会 (京都) |
| 第3回 | 9月8日(金) | 講演「パラメータ設計における再現性確認の意味と対応」 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏 |
| 第4回 | 10月6日(金) | 京都・滋賀・関西・中部の各品質工学研究会の合同例会 (大津市) |
| 第5回 | 12月8日(金) | 講演「MTシステム概論」及び事例発表・相談 講師：(有)アイテックインターナショナル中野 恵司 氏 |
| 第6回 | 2月9日(金) | 講演「MT法の実際の進め方」及び事例発表・相談 講師：(有)アイテックインターナショナル中野 恵司 氏 |

○ 平成30年度は、例会を5回、合同シンポジウムを1回開催することとなった。

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者を育成するため、科学技術やものづくりへの関心を高める取組の一環として、高校生や大学生等を対象に斬新で独創的なアイデアを募集し、書類審査を経てコンテスト（プレゼンテーションと最終審査）を行い、優れたアイデアを表彰した。また、特許出願等の相談及び参加者と実行委員・選考委員等による交流会を開催した。

(1) 主催等

| | |
|------|---|
| ア 名称 | テクノ愛2017 |
| イ 主催 | テクノ愛実行委員会 |
| ウ 共催 | 公益財団法人京都技術科学センター 京都大学産官学連携本部 |
| エ 後援 | 文部科学省、近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会、NHK京都放送局、国立研究開発法人科学技術振興機構、日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会 |
| オ 協賛 | 大阪大学産学共創本部、神戸大学学術・産業イノベーション創造本部、京都工芸繊維大学研究戦略推進本部、大阪電気通信大学、関西サイエンス・フォーラム |
| カ 協力 | 京都大学生生活協同組合 |

(2) 募集等

| | |
|--------|---|
| ア 募集対象 | 高校の部：高校生、高等専門学校1～3年生 大学の部：大学生、大学院生、高等専門学校4・5年生、専攻科生等 |
| イ 募集期間 | 平成29年6月1日～平成29年9月1日 |
| ウ 応募状況 | 高校の部 11校・39件（学校所在地：青森県～福岡県の9府県） 大学の部 11校・43件（学校所在地：北海道～福岡県の8道府県） |

(3) 書類審査

- ア 選考委員による書類審査で、コンテストに進む高校の部、大学の部各9テーマを選考した。
- イ 上記以外のテーマのうち、書類審査で健闘したと認められた高校の部4テーマ、大学の部5テーマに対し、コンテスト当日の審査で健闘賞を授与することを決定した。

(4) コンテスト等の開催

書類審査により選考された高校の部、大学の部各9テーマについてコンテスト（発表・最終審査）を行うとともに、特許相談及び交流会を開催した。

| | |
|--------|---|
| ア 日時 | 平成29年11月23日（木曜日・祝日） 9:15～16:50 |
| イ 場所 | コンテスト：京都大学国際科学イノベーション棟 シンポジウムホール 交流会：京都大学国際科学イノベーション棟 ホワイエ |
| ウ 入賞 | 高校の部：グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞1件、奨励賞6件 大学の部：グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞1件、奨励賞6件 総合の部：テクノ愛賞1件 ※入賞の内容は、下記一覧表のとおり |
| エ 特許相談 | 特許の出願方法等に係る相談 |
| オ 参加者 | 76名 |

テクノ愛2017入賞テーマ等一覧表

<高校の部>

| 賞名 | テーマ | 学校名 | 氏名 |
|--------|----------------------------|---------------|--------------------------------------|
| グランプリ | 命を繋ぐ AED 運搬システム～やってくる AED～ | 智辯学園和歌山高等学校 | 岡田紗季 |
| 準グランプリ | 『のぼるンバ2』 | 洛星中学高等学校 | 秀島裕樹 由利倫太郎 山本京介 |
| 優秀賞 | 水中植物工場 | 青森県立名久井農業高等学校 | 岩間暉 佐々木健也 嶋守龍 小笠原舞華 鹿島未夢 |
| 奨励賞 | 光る単極モータ | 祐誠高等学校 | 堤皓紀 津留崎陸 越智啓太 崎本眞衣 中島みずき |
| | グリーンペーパー；超低コスト紙 | 洛星中学高等学校生物部 | 森田未来心 沢井拓 沢井歩 |
| | 濃度差のある水溶液境界面の拡散速度測定装置の開発 | 福岡県立香住丘高等学校 | 井手美里 今里茉央 藤田めぐみ |
| | スマートウォッチを用いたバーチャルマウス | 名城大学附属高等学校 | 加藤駆流 |
| | メタンハイドレート開発における排水構造体に関する考案 | 兵庫県立姫路西高等学校 | 田井東大貴 北一輝 |
| | 摘果りんごの機能性甘味料 | 青森県立名久井農業高等学校 | 小笠原舞華 鹿島未夢 岡堀有希 佐々木円花 |

<大学の部>

| 賞名 | テーマ | 学校名 | 氏名 |
|--------|--------------------------|--------------|--|
| グランプリ | 高齢者へ老人性難聴で低下した音を届ける | 九州大学大学院 | 小山昭則 |
| 準グランプリ | Whoa(フーア)大切な人をふわっと感じるツール | 京都工芸繊維大学大学院 | 小橋佳衣 CHIEN CHIEH AN FENG ZHI 白澤怜樹 前田竜輝 |
| 優秀賞 | シミ落とし綿棒 | 福井大学 | 舟橋咲季 |
| | 分散系 ER 流体を用いた落下時間可変液時計 | 神戸市立工業高等専門学校 | 友枝功佑 |

| | | | |
|-----|----------------------|-------------|--|
| 奨励賞 | add : 加法混色を学ぶ知育玩具 | 京都工芸繊維大学大学院 | 堀井映理 井上咲弥 小西健太 仲山智子 吉川優花 |
| | 音×コミュニケーション NatuRism | 武庫川女子大学 | 吉川以紗 稲継彩華 上原由布和 澁谷木乃美 藤原円香 掛橋望美 |
| | ポンプ式酸素マスク | 福井大学大学院 | 神水貴晃 |
| | 予定で音楽を奏でる玄関マット TODAY | 京都工芸繊維大学大学院 | 中野築月 佐々木碧 加藤卓馬 松尾星吾 |
| | 色が変わるチーク（頬紅） | 福井大学 | 村上夏穂 |

<テクノ愛賞>

| 賞名 | テーマ | 学校名 | 氏名 |
|-------|--------------------------|-------------|-----------------------|
| テクノ愛賞 | 濃度差のある水溶液境界面の拡散速度測定装置の開発 | 福岡県立香住丘高等学校 | 井手美里 今里茉央 藤田めぐみ |

健闘賞受賞テーマ等一覧表

<高校の部>

| 賞名 | テーマ | 学校名 | 氏名 |
|-----|----------------------------|-------------|---|
| 健闘賞 | 待ち時間のお供に「はぎさん」 | 堺市立堺高等学校 | 白山遼 平田弥之 島谷哲平 田中志門 嶋橋佑太 山田一真 |
| | シカコナーズ | 和歌山工業高等専門学校 | 尾崎嘉紀 得津椋生 西萩一喜 |
| | 安心して潤いが保てるウェットティッシュ「乾かずっと」 | 新居浜工業高等専門学校 | 田所千奈 |
| | 買い物楽々買い物カゴ | 岡山県立玉島高等学校 | 若狭怜奈 |

<大学の部>

| 賞名 | テーマ | 学校名 | 氏名 |
|----|-------------------------|-------------|------|
| | 遺伝的アルゴリズムによる橋梁の最適化プログラム | 苫小牧工業高等専門学校 | 折居遼平 |

| | | | |
|-----|-----------------------------|---------------|------------------------------|
| 健闘賞 | 分散型図書コミュニティによるシェアリングサービス | 京都大学工学部 | 松田悠太郎 大塚悠貴 勝村里佳 衣川雛 |
| | 必着!!運び人 ～宅内における高齢者支援～ | 奈良先端科学技術大学院大学 | 高田将志 中村翼 青木隆之介 森康登 |
| | 情報は墓場まで持ち込めないーデジタル家電から情報を削除 | 大阪市立大学大学院 | 磯貝洋志 |
| | ヒアラブルによる新感覚ショッピング | 阪南大学 | 津村拓実 辻野美咲 谷口浩暉 |

(5) 委員会開催状況

ア テクノ愛実行委員会

| 開催年月日 | 場 所 | 主 な 議 題 |
|--------------------|--------|---|
| 第1回 平成29年7月18日 | (書面会議) | 1 実行委員会委員長の選任について 2 テクノ愛2017 開催要領について 3 テクノアイデアコンテストの改善・見直しについて |
| 第2回 平成29年11月23日 | 京都大学 | 1 テクノアイデアコンテストの改善・見直しについて 2 健闘賞の創設について |

イ テクノ愛選考委員会

| 開催年月日 | 場 所 | 主 な 議 題 |
|------------------------------|--------|---|
| 第1回 平成29年9月19日 ～10月10日 | (書類審査) | 1 テクノ愛2017の書類審査について |
| 第2回 平成29年11月23日 | 京都大学 | 1 テクノ愛2017の最終審査について 2 健闘賞の創設及びテクノ愛2017健闘賞の選考について |

○ 運営方法の改善・見直し

プレゼン資料の事前送付、特別講演の廃止、表彰式の簡素化等によりコンテスト当日のイベントや作業を減らし、円滑かつゆとりある運営となるよう改善した結果、アンケートでは、スムーズに進行したことを含め、参加者の満足度が高くなった。

他方、応募数が減少していることから、コンテストに進まなかったテーマを対象とした健闘賞を創設するとともに、広報活動やスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校等への働き掛けを強化することとなった。

○ 平成30年度は、6月1日（金）～9月12日（水）に応募を受け付け、書類審査を経て11月23日（金・祝日）にコンテストを行うこととなった。

4 科学館・技術館訪問研修

中学生及び高校生の科学技術への関心を高めるため、夏休み期間を利用して、世界的な計測機器メーカーである株式会社堀場製作所のびわこ工場を訪問し、研修会を開催した。

- (1) 名称 科学館・技術館訪問研修
- (2) 主催 公益財団法人京都技術科学センター
- (3) 後援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会
- (4) 日時 平成29年8月9日(水) 13:45~15:40
- (5) 場所 株式会社堀場製作所びわこ工場 (滋賀県大津市苗鹿1丁目15-1)
- (6) 参加者 中学生・高校生及び教員等 47人
- (7) 内容 京都大学の学生であった堀場正夫氏が創業し、世界的な計測機器メーカーに発展したあゆみ、「おもしろおかしく」の社是、同社が製造・販売する自動車、環境、医用、半導体等に係る計測機器、ものづくりの考え方等の説明を受けた。
工場見学では、同工場で製造されているエンジン排ガス測定装置や煙道排ガス測定装置の製造工程や、エンジンの排ガス測定試験や自動車の開発試験を行うE-LABを見学した。また、赤外線温度を測る放射温度計を使って様々な物体の温度を非接触で計測する実験をした。
参加者は、一人の日本人学生が始めた事業が世界27か国49社に広がったことに感銘を受け、同社の製品が身近な所で利用されていることを知り、自動車の開発試験を行うE-LABや製造現場にも目を見張った。また、放射温度計を使った実験が面白かったという意見も多数寄せられた。
この研修を通じて、「中学生・高校生の科学技術への関心を高め、わが国の産業の発展に寄与する」という所期の目的を達成することができた。

- 平成30年度は、8月1日(水)に京都府久世郡久御山町にある株式会社SCREENホールディングス久御山事業所を訪問することとなった。

5 おもしろサイエンス

小学生に、科学実験・工作イベントを通じて学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めるため、実験教室を開催した。

- (1) 主催等
 - ア 主催 公益財団法人京都技術科学センター
 - イ 後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会
 - ウ 協力 サイエンスEネット
- (2) 開催状況
 - (第1回)
 - ア 名称 クリスマスの実験教室
 - イ 日時 平成29年12月23日(土・祝日) 13:30~15:30
 - ウ 場所 京都技術科学センター ホール
 - エ 参加者 小学生42名(親子35組)
 - オ プログラム
 - ① サボニウス型風車風力発電機の解説及び作製
講師の東京理科大学・川村康文教授から、水力、太陽光などの自然エネルギーを使った発電の種類やサボニウス型風車風力発電機について、やさしく・楽しく解説していただいた後、サボニウス型風車風力発電機を作製した。

② LED プレートの解説及び作製

光の全反射の性質について解説していただいた後、これを利用した LED プレートを作製した。その後、風力発電機の導線と LED プレートをつなぎ、風車を回すと LED プレートが光ることを確かめた。

(第 2 回)

ア 名称 春の実験教室

イ 日時 平成 30 年 3 月 24 日 (土) 13:30~15:30

ウ 場所 京都技術科学センター ホール

エ 参加者 小学生 42 名 (親子 34 組)

オ プログラム

① 発電の実演と体験

講師の東京理科大学・川村康文研究室の院生がシャカシャカライトで鈴、手回し発電で帽子、圧力発電でタンバリンを光らせ、その原理を学んだ後、自転車発電でテレビを点灯させる体験をした。

② シャカシャカライトの作製

電磁誘導の原理を応用し、しゃかしゅかと振ると LED ライトが点灯するシャカシャカライトを作製した。

6 科学技術情報等提供

ホームページ (HP) を活用し、当センターが実施する事業に関する情報を提供し、応募者や参加者の拡大を図った。また、研究開発助成テーマ、テクノアイデアコンテストの入賞アイデア、おもしろサイエンスのプログラム等を掲載し、啓発に努めた。

その他、当センターの沿革・概要、事業計画・事業報告、収支予算・決算状況を HP に掲載した。

III 収益事業

本法人が所有する建物・土地を事務室、研究室、倉庫、収納庫及び駐車場として賃貸するとともに、会議室・ホールを貸し出し、その収益を公益目的事業の実施に活用した。

1 施設の賃貸

(1) 利用者増加の取組

HP で空室情報等の広報をきめ細かく行うとともに、施設の環境改善を行った。

- ・貸室の空き情報を 1~2 か月に 1 回更新
- ・廊下・会議室照明の更新 (LED 化)、清掃の強化 (業務追加、床の剥離清掃) 等

(2) 利用状況 (①~③は平成 30 年 3 月 31 日現在)

| | | |
|-------------------|-----------------|--------|
| ① 事務室・研究室・倉庫の利用者数 | 38 団体 (平成 28 年度 | 35 団体) |
| ② 収納庫使用室数 | 19 室 (同 | 20 室) |
| ③ 駐車場使用台数 | 43 台 (同 | 39 台) |
| ④ 会議室等利用件数 | 75 件 (同 | 94 件) |

2 建物・設備等の管理

(1) 保守管理

- ・日常清掃の業務内容を 8 月から変更した (建物外階段及び炊事場の床を追加)。
- ・9 月に 1 階ホール前廊下等の床の剥離洗浄・ワックス掛けを行った (98,280 円)。

(2) 改修工事

- ・受水槽の更新 (3,996,000円)
- ・汚水ポンプの更新 (2台、864,000円)
- ・非常用直流電源装置の更新 (1,922,400円)
- ・エアコンの更新 (8台、2,302,560円)
- ・照明器具の更新 (会議室、本館1階廊下のLED化、961,200円)
- ・内窓の設置 (302,400円)

(3) 修繕工事

- ・給水設備の修繕 (3件、366,330円)
- ・エアコンの修繕 (7台、316,672円)
- ・駐車場の外灯の修繕 (82,080円)
- ・分電盤・電力量計の修繕 (160,920円)
- ・ドア・錠の修繕 (9件、126,576円)
- ・換気扇の修繕 (2件、49,680円)
- ・消防用設備の修繕 (2件、81,000円)
- ・駐車場の門柱の塗装 (47,520円)
- ・その他 (111,046円)

(4) 備品の購入

- ・パソコン及び液晶ディスプレイの購入 (各1台、136,980円)
- ・ポータブルランプの更新 (1台、84,460円)
- ・ホワイトボードの整備 (1台、19,720円)

(5) その他

ア 建物・設備診断の実施

既設建物老朽度調査及び修繕計画作成業務を専門業者に委託 (1,620,000円) し、その成果を長期ビジョンの検討資料に反映させた。

イ 外構補修工事

平成30年度実施に向け、マンハイム鴨川管理組合とともに請負業者の選定作業を行った。4社から見積もりを徴し、最も低額であった1社を選定した。

IV センターの運営

1 センターの概要 (平成30年3月31日現在)

| | | |
|-----|--------------------|-----------------------|
| 設立 | 昭和17年12月28日 | 財団法人京都技術科学館として設立 |
| | 昭和35年12月27日 | 財団法人近畿地方発明センターに名称変更 |
| | 平成24年4月1日 | 公益財団法人京都技術科学センターに名称変更 |
| 評議員 | 13名 | |
| 役員 | 16名 (理事14名 監事2名) | |
| 委員 | 研究助成選考委員会委員 | 6名 |
| | 長期ビジョン検討委員会委員 | 8名 |
| | 建物等管理委員会委員 | 5名 |
| | テクノ愛実行委員会委員 | 7名 |
| | 同 選考委員会委員 | 11名 |
| 事務局 | 常務理事1名、事務局長1名、参事1名 | |

2 理事会の開催状況

| 開催 | 議題 | 備考 |
|----------------------------------|--|-------|
| 平成29年度 第1回定時理事会 平成29年5月26日 | I 決議事項 1 平成28年度事業報告の承認の件 2 平成28年度決算の承認の件 3 平成29年度定時評議員会の招集の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について | |
| 平成29年度 第1回臨時理事会 平成29年6月23日 | I 決議事項 1 長期ビジョン検討委員会委員の選任の件 | 決議の省略 |
| 平成29年度 第2回定時理事会 平成30年3月23日 | I 決議事項 1 平成30年度事業計画書の承認の件 2 平成30年度収支予算書等の承認の件 3 平成30年度研究開発助成金交付対象者等の決定の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について 2 長期ビジョン検討委員会からの報告について 3 建物賃貸借契約者の異動状況について | |

3 評議員会の開催状況

| 開催 | 議題 | 備考 |
|--------------------------------|--|----|
| 平成29年度 定時評議員会 平成29年6月14日 | I 決議事項 1 評議員の選任の件 2 役員の選任の件 3 平成28年度決算の承認の件 II 報告事項 1 平成28年度事業報告について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について | |

4 監事監査

| 開催 | 内容 | 備考 |
|------------|-------------------|----|
| 平成29年5月17日 | 平成28年度事業報告及び決算の監査 | |

5 長期ビジョンの検討

長期ビジョン検討委員会において下表の審議を経てビジョン（案）を取りまとめ、平成29年度第2回定時理事会に報告した。

ビジョン（案）の項目は次のとおり。

- ① 長期ビジョンの計画期間について
- ② センターの役割・存在意義について
- ③ 公益目的事業の在り方について
- ④ 収益事業の在り方について
- ⑤ 建物・設備の在り方について
- ⑥ 人員体制について
- ⑦ センターの今後の在り方について
- ⑧ ロードマップについて

長期ビジョン検討委員会の開催状況

| 開催 | 内容 | 備考 |
|--------------------|--|----|
| 第1回 平成28年12月15日 | 1 委員長の選任について 2 当センターの現状と課題について 3 今後の検討スケジュールについて | |
| 第2回 平成29年3月14日 | 1 アンケート結果について 2 課題に係る対応策の検討について | |
| 第3回 平成29年7月13日 | 1 論点整理について 2 今後のスケジュールについて | |
| 第4回 平成29年12月15日 | 1 長期ビジョン（報告素案）について 2 次回会議の開催について | |
| 第5回 平成30年2月21日 | 1 長期ビジョン（報告案）について | |

事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する平成29年度事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。